

企画展プレスリリース

猪熊弦一郎展 INOKUMA Genichiro

# いのくまさん



猪熊弦一郎  
《飛ぶ日のよろこび》 1993年  
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵  
©公益財団法人ミモカ美術振興財団

- 1 展覧会名 猪熊弦一郎展『いのくまさん』
- 2 会期等 2023年4月15日(土)～6月25日(日)  
休館日:毎週月曜日 ただし5月1日(月)は開館

### 3 展覧会概要

猪熊弦一郎(1902-1993)は香川県に生まれ、東京美術学校で油彩画を学びました。1936年に仲間たちと新制作派協会を結成。東京、パリ、ニューヨーク、ハワイと拠点を移しながら、様々な芸術家たちと交友し、彼らに刺激を受けつつ独自の画風を追究しました。その活動は幅広く、40年におよぶ『小説新潮』の表紙絵をはじめ、三越百貨店の包装紙デザインや、JR上野駅中央改札の壁画でも知られています。

絵本『いのくまさん』(小学館発行)は、画家・猪熊弦一郎の作品の魅力をこどもたちにもわかりやすく紹介した本です。本文は詩人・谷川俊太郎のシンプルかつ軽妙な文章で綴られ、ページをめくるたびに、猪熊作品の多彩で生命力にあふれた世界が広がります。本展はこの絵本をもとに構成した、大人からこどもまで楽しめる展覧会です。

\*広報用画像は5ページ

#### 《問い合わせ先》

茨城県近代美術館 担当学芸員:山口 広報担当:桑子 イベント担当:河野  
〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1  
Tel:029-243-5111 Fax:029-243-9992

## 1 展覧会名

猪熊弦一郎展『いのくまさん』

## 2 主催等

主催：茨城県近代美術館

特別協力：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

後援：水戸市／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／NHK 水戸放送局／産経新聞社水戸支局／東京新聞水戸支局／日本経済新聞社水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局

## 3 会期 2023年4月15日（土）～6月25日（日）

休館日：毎週月曜日 ただし5月1日（月）は開館

開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

## 4 会場 茨城県近代美術館

- 5 入場料 一般 1000(870)円／満70歳以上 500(430)円／高大生 730(610)円／  
小中生 370(240)円 ※（ ）内は20名以上の団体料金  
※6月10日（土）は満70歳以上の方は入場無料  
※障害者手帳等をご持参の方は無料 ※土曜日は高校生以下は無料

## 6 展覧会概要(約500文字)

猪熊弦一郎(1902-1993)は香川県に生まれ、東京美術学校(現・東京藝術大学)の藤島武二教室で油彩画を学びました。1936年に小磯良平らと新制作派協会(現・新制作協会)を結成。東京、パリ、ニューヨーク、ハワイと拠点を移しながら、マティス、ピカソ、藤田嗣治、イサム・ノグチら様々な芸術家と交友し、彼らに刺激を受けつつ独自の画風を追究しました。またその制作活動は幅広く『小説新潮』の表紙絵を40年間描いたほか、三越の包装紙「華ひらく」のデザインや、JR上野駅中央改札の壁画《自由》の制作を担ったことでも知られています。

絵本『いのくまさん』(小学館発行)は、画家・猪熊弦一郎の作品の魅力をこどもたちにもわかりやすく紹介した本で、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館の企画により2006年に発刊されました。本文は詩人・谷川俊太郎のシンプルかつ軽妙なタッチの言葉で綴られ、ページをめくっていくたびに、猪熊作品の多彩で生命力にあふれた世界が広がります。本展はこの絵本をもとに構成した、大人からこどもまで楽しめる展覧会です。また作品に加え、戦後の社会を彩った猪熊の様々な仕事等も併せて紹介し、その魅力に迫ります。

## 7 広報文

### 【広報文1】(約50字)

猪熊弦一郎作品の魅力を紹介した絵本『いのくまさん』をもとにした、大人からこどもまで楽しめる展覧会。

### 【広報文2】(約90字)

多彩な創作活動で知られる画家・猪熊弦一郎の作品の魅力をごどもたちにもわかりやすく紹介した絵本『いのくまさん』。本展はこの絵本をもとに構成した大人からこどもまで楽しめる展覧会です。

### 【広報文3】(約150字)

多彩な創作活動で知られる画家・猪熊弦一郎(1902-1993)。その作品の魅力をごどもたちにもわかりやすく紹介した絵本『いのくまさん』は、詩人・谷川俊太郎の軽妙な文章のもと、ページをめくるたびに猪熊作品の鮮やかな世界が広がります。本展はこの絵本をもとに構成した大人からこどもまで楽しめる展覧会です。

## 8 展覧会の構成

こどものころ／じぶんのかお／ほかのひとのかお／たくさんのかお／とりがすき／ねこもすき／おもちゃがすき／かたちがすき／いろもすき  
といった絵本の構成にあわせて、色鮮やかで生命力にあふれた猪熊作品が会場にならびます。作品に加え、戦後の社会を彩った猪熊の様々な仕事等も併せて紹介します。

## 9 見どころ

- (1) 詩人・谷川俊太郎のシンプルかつ軽妙な言葉とともに、猪熊作品の色彩溢れる世界が広がる絵本『いのくまさん』。本展はこの絵本のイメージを、実際の作品で具現化して、ご覧いただきます。
- (2) 「何をかいてあるのかわからなくても、美しいというのがわかれば、それがいちばんいい絵のみかたです」と猪熊弦一郎は語っています。その言葉の通り、猪熊の作品は、抽象的なものであっても、素直に「美しい」と感じ「楽しむ」ことができます。猪熊作品の「いろ」や「かたち」を、存分にご堪能ください。
- (3) 絵画作品に加え、自身が「対話彫刻」と名付けた針金などによる昆虫のようなオブジェや、猪熊がコレクションしたおもちゃ、そして40年にわたり描いた『小説新潮』の表紙絵などの様々な仕事。これらを併せて紹介し、猪熊の多彩な魅力に迫ります。
- (4) 猪熊は、多くの友人・知人たちから様々な刺激や影響を受けました。1階アートフォーラム展示コーナーでは、猪熊と彼をめぐる人たちについて、様々なエピソードを交えながら紹介します。

## 10 会期中のイベント

(1) 講演会「猪熊弦一郎と『いのくまさん』」

講師：古野華奈子氏（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館学芸員）  
日時：2023年5月14日（日） 午後2時～午後3時30分  
会場：地階講堂 定員：250名（申込不要、参加無料）

(2) 学芸員による鑑賞講座「猪熊弦一郎と彼をめぐる人たち」

講師：山口和子（本展担当学芸員）  
日時：2023年5月28日（日） 午後2時～午後3時30分  
会場：地階講堂 定員：250名（申込不要、参加無料）

(3) ミュージアムコンサート「朗読とピアノで綴る『いのくまさん』の世界」

日時：6月4日（日）午後2時～  
出演：見澤淑恵氏（朗読）  
五木田綾氏（ピアノ）  
会場：地階講堂 定員：250名（要事前申込、参加無料）

(4) 5月5日（金・祝）と6月17日（土）はキッズデイ

いつもは美術館に来館しにくい小さなお子さんとその保護者の方々を対象に設定。対話型の鑑賞イベントをはじめ、常時設置している授乳コーナーのほか、この日は特別に休憩室も設けます。少し大きな声で会話しても大丈夫のように、館内表示も行います。対話型鑑賞イベントのみ事前申込制。

※イベント詳細、申込方法等につきましては当館HPをご覧ください。

## 11 問い合わせ先

茨城県近代美術館 〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保 666-1  
Tel: 029-243-5111 Fax: 029-243-9992 E-mail: fukyu-pub@modernart.museum.ibk.ed.jp  
担当学芸員：企画課 山口(やまぐち) / 広報担当：企画課 桑子(くわこ) /  
イベント担当：企画課 河野(かわの)

広報用画像

- ・このページに掲載された作品は、本展覧会の広報目的の場合にのみ掲載可能です。
- ・画像掲載の際には、当館までご一報ください。
- ・画像のトリミング・文字のせはしないでください。
- ・画像掲載に際しては、作者名(すべて猪熊弦一郎)、作品名、制作年に加え、次の情報を必ず記載してください。 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵 ©公益財団法人ミモカ美術振興財団



《婦人像》1926年



《サクランボ》1939年



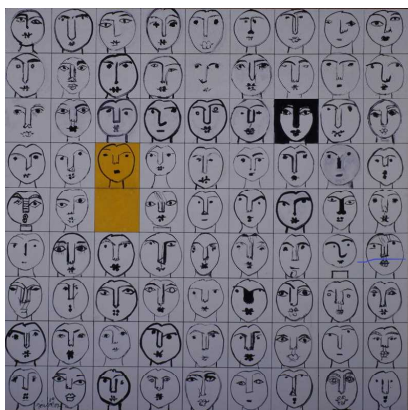
《マドモアゼルM》1940年



《猫によせる歌》1952年



《驚く可き風景(A)》1969年



《顔80》1989年



《金環食》1987年



《飛ぶ日のよろこび》1993年